

授業科目名 (英訳)	ヨーロッパと東アジアにおける 経済統合 Economic Integration in Europe and East Asia					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・IALNAZOV, Dimiter Savov				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時間	金/5	授業形態	講義	使用言語	英語
<b>〔授業の概要・目的〕</b>											
<p>ヨーロッパにおける経済統合を学習することにより、今後の東アジア経済統合の可能性について学生に考えてもらうことがこの授業の目的である。前半では、EUの単一市場、単一通貨（ユーロ）、共通農業政策、共通地域・結束政策、28カ国への拡大等のテーマを取り上げる。同時に、現在のユーロ圏債務危機、EUのさらなる拡大への反対、「民主主義の不足」といったヨーロッパにおける経済統合の問題点についても学生と一緒に考える。後半では、学生に、ヨーロッパについて得た知識を基に、東アジアにおける経済統合のポテンシャルと問題点を探ってもらう。最後の二回の授業では、学生に自らの期末レポートの内容について発表してもらう。</p>											
<b>〔到達目標〕</b>											
<p>ヨーロッパにおける経済統合の成功要因を理解できる。また、ヨーロッパの経験に基づいて、東アジアにおける経済統合の可能性と課題について分析する能力を習得できる。</p>											
<b>〔授業計画と内容〕</b>											
<p>第1回. 授業についての説明  第2回. ヨーロッパにおける経済統合の歴史（第二次世界大戦終了から1960年代末まで）  第3回. ヨーロッパにおける経済統合の歴史（1970年代初めから現在まで）  第4回. ヨーロッパにおける通貨統合の歴史（1960年代末から1970年代末まで）  第5回. ヨーロッパにおける通貨統合の歴史（1980年代初めからユーロの導入まで）  第6回. ユーロのメリットとデメリットについてのディスカッション  第7回. EU拡大について（1970年代初めから1990年代末まで）  第8回. EU拡大について（2000年代において）  第9回. EU拡大の成否についてのディスカッション  第10回. EUの主な機関とその改革について  第11回. EUの予算と共通農業政策について  第12回. ヨーロッパと東アジアにおける経済統合の比較  第13回. ヨーロッパと東アジアにおける経済統合の比較  第14回. 期末レポート内容についての発表  第15回. 期末レポート内容についての発表</p>											
<b>〔履修要件〕</b>											
<p>英語でコミュニケーションできる能力、及び英語で書かれた学術的な文書を読解する能力が必要である。経済学の知識がなくても受講できる。</p>											
<b>〔成績評価の方法・観点及び達成度〕</b>											
<p>以下の基準により成績評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出席率、討論への参加、授業課題の提出: 50%</li> <li>2. 期末レポートの質と発表: 50%</li> </ol> <p>4回以上授業を欠席した場合、単位を認めない。</p>											
<b>〔教科書〕</b>											
F. McDonald and S. Dearden (2005). European Economic Integration, 4th edition, Pearson Education.											

[参考書等]

A. El-Agraa (2007), The European Union, 8th edition, Cambridge University Press.

[授業外学習（予習・復習）等]

授業前に予習すべきことは口頭で説明する。

[その他（オフィスアワー等）]

この講義は基本的に英語で行うが、受講生の英語コミュニケーション能力により日本語も使うことがある。また、この講義についての問い合わせは日本語でも受け付ける。

面談を希望している受講生は、(1)名前、学籍番号、所属；(2)可能な面談日時（第3希望まで）を書いて [ialnazov@econ.kyoto-u.ac.jp](mailto:ialnazov@econ.kyoto-u.ac.jp) にメールをください。なお、私の履歴、教育や研究活動について知りたい方は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> を参照してください。

講義のスライド、討論用の課題、レポートの要件等は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> からダウンロードできる。